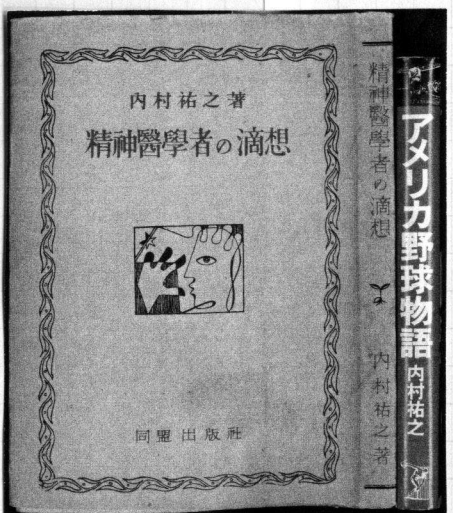


内村祐之 うちむらゆき 精神醫學者、醫學博士。明治二十年十一月十一日東京生れ、昭和五十五年九月十七日歿（一九七二—一九八〇）。父は内村鑑三。第一高等學校を経て、大正十一年東京帝國大學醫學部卒。ドイツ留學後、昭和三年北海道帝國大學教授、十一年東京帝大教授、松澤病院院長兼任。戦後大川周明、連横殺人犯小平義雄等の精神鑑定人とする。その六一高時代野球部創設以来の名投手として鳴らし、二七年プロ野球ユミッシェンヨナーにも就任するほど、野球界とも關係深かつた。

譯書に、E・クレッチェメル著『天才人』（昭和七年四月二十日岩波書店）、E・クレッチェマー著『天才の心理學』（昭和二十八年六月十五日岩波書店）。のち、五十七年一月十八日『岩波文庫』（ヤスベロス著『精神病理學總論』全三冊（他二名共譯、上巻・昭和二十八年十月十日、中巻・二十九年二月十日、下巻・二十一年二月二十一日岩波書店）等。著書に、『傑出人腦の研究』（長興又郎・西丸四方合著、第一輯・昭和十四年十一月二十日岩波書店）、『學生生活と頭腦の保健』（昭和十七年九月東京帝國大學全學會「厚生部講演」）、『精神醫學者の滴想』（昭和二十二年五月十日、いち十月五日同盟出版社。復刊

『精神醫學者の滴想』五十九年一月十日中央公論社「中央文庫」）、『ロマンチック物語』



『ロマンチック物語』

（昭和二十二年八月十日恒文社）、『追想集内村鑑三』（合著・鈴木俊郎編、昭和二十四年四月五



白浪路書房)、
『世界最速チームアメリカ野球物語』(昭和二十四
年八月一日羽田書店)、
『天才の狂気』(昭和二十七年三月五日創元
社)、
『盤ニ野球・精神医学』(昭和四十八年十月一日日本経
済新聞社)、
『アメリカ野球物語』(昭和五十二年二月十日ブ
ース
ー
ル・マガジン社)等。